

2024年11月25日
 コスモ石油株式会社
 日揮ホールディングス株式会社
 株式会社レポインターナショナル
 合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

堺市と廃食用油の SAF 等への資源化促進に関する協定を締結
 ～大阪府内5施設のイオンモールに家庭系廃食用油の回収ボックスを常設～

コスモ石油株式会社（代表取締役社長：鈴木 康公、以下「コスモ石油」）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長 CEO：佐藤 雅之、以下「日揮 HD」）、株式会社レポインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也、以下「レポインターナショナル」）は、堺市（市長：永藤 英機）と持続可能な航空燃料 SAF（Sustainable Aviation Fuel、以下「SAF」）及びバイオプラスチックなどの原料となる使用済み食用油（以下「廃食用油」）の資源化促進を図るため、「持続可能な社会の構築に向けた廃食用油の資源化促進に係る連携及び協力に関する協定書」を2024年11月22日に締結し、同日に堺市内のイオンモール堺鉄砲町で協定締結式を執り行いました。



協定締結式の様子（左から）レポインターナショナルの越川哲也・代表取締役 CEO、コスモ石油の春井啓克・取締役常務執行役員 堺製油所長、堺市の永藤英機市長、日揮 HD の秋鹿正敬・専務執行役員

【協定の主な内容】

- ・持続可能な社会の構築に向けた SAF 及びその他の原料となる廃食用油の資源化促進に関する
 こと、およびその情報発信等に関すること
- ・その他本協定の目的に資する取り組みに関すること

【協定に基づく具体的な取り組み】

コスモ石油、日揮 HD、レポインターナショナルの3社が2024年11月に設立した国産 SAF の製造事業会社である合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表：秋鹿 正敬、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」）は、本協定に基づく堺市の協力のもと、イオンモール株式会社、レポインターナシ

ナルと共同で、大阪府内 5 施設のイオンモールに常設の家庭系廃食用油回収ボックスを順次設置します。

各回収ボックスに集まった家庭系廃食用油はレポインターナショナルが収集し、国内初の SAF 大規模生産を行う SAFFAIRE SKY ENERGY のプラント（コスモ石油堺製油所内、2025 年度運転開始予定）へ運ばれ、国産 SAF の原料として資源化されます。

【廃食用油回収ボックス設置の概要】

回収開始日：2025 年 1 月中旬

※イオンモール堺鉄砲町は 2024 年 11 月 22 日より設置開始

実施場所：大阪府内 5 施設のイオンモール

イオンモール堺北花田（堺市北区）、イオンモール堺鉄砲町（堺市堺区）

イオン藤井寺ショッピングセンター（藤井寺市）、

イオンモールりんくう泉南（泉南市）、イオンモール日根野（泉佐野市）

回収品目：家庭系廃食用油（家庭から出る食用油のみ回収可能）

※ラードや牛脂などの動物性油、マヨネーズ・ドレッシング類、鉱物油、家庭系以外の油については回収対象外

2024 年 11 月 22 日には本取り組みのキックオフを記念し、イオンモール堺鉄砲町にて家庭系廃食用油の回収開始イベントを実施しました。家庭系廃食用油の回収に加え、廃食用油から SAF が製造・使用されるまでの VR 体験コーナーなどを設け、廃食用油の資源化についてお客さまに広く理解いただく機会となりました。

本イベントには、廃食用油の回収及び本取り組みを協働して進める SAFFAIRE SKY ENERGY、イオンモール、関西エアポート、レポインターナショナルの 4 社の他、コスモ石油、日揮 HD、堺市、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会などが参加しました。



廃食用油回収開始イベント集合写真



廃食用油回収の様子

【SAF (Sustainable Aviation Fuel) について】

バイオジェット燃料を含む持続可能な航空燃料。原料として廃食用油、サトウキビなどのバイオマス燃料や都市ごみ等を用いて製造するもので、航空機や給油設備の変更をせずとも利用でき、製造から使用までのライフサイクル全体で約 60～80%の削減効果が得られます。

参考：国土交通省「空のカーボンニュートラル SAF の導入促進 航空機運航分野の脱炭素化」

URL：<https://www.mlit.go.jp/koku/jigyousha.html#saf>

【国内初の SAF 大規模生産事業の概要】

コスモ石油は日揮 HD、レポインターナショナルと共同で、国内における廃食用油の収集から SAF の製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2022 年に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立。国内で発生する廃食用油のみを原料とした年間約 3 万キロリットルの SAF の供給を目指しています。現在、コスモ石油堺製油所（大阪府堺市）内において SAF 製造装置の建設を進めており、2024 年内に完工、2025 年初頭に供給開始を見込んでいます。なお、本事業は NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）より採択※を受けた助成事業です。

※NEDO ホームページ URL：https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html



建設中の SAF 製造装置
(コスモ石油堺製油所構内)



SAF の原料となる廃食用油受け入れ施設
(コスモ石油堺製油所構内)

以上